

熱く盛り上がった きたつな読書週間

1 活動の概要

北綱島特別支援学校は、重度重複障害のある児童生徒が多く在籍しています。「読書活動を通して、豊かな感性・情操を育む」という学校図書館運営方針に基づき、ICT活用などの整備を行い、個に応じた読書活動を推進しています。「きたつな読書週間」では、読書週間コラボ給食や、クラスのおすすめ本のポスター作成、期間中の貸出冊数によるスタンプラリーとプレゼント配布などを行い、図書館には多くの児童生徒が集まり、熱く盛り上がりました。



2 活動の状況、実際

【読書習慣コラボ給食】給食メニューの参考にした絵本で、学校司書が読み聞かせ動画を作成し、給食時間などに各教室などで姿勢や場所を選ばずに見られるよう配信。

【読書スタンプラリー】1冊借りると1つのスタンプを押し、5つ集めると紙袋やカードケース、さらに8つ集めるとガチャポンを引ける。図書館利用者数は大幅に増加。



3 参加者、指導者等の声

【教職員】

「読書スタンプラリーのプレゼントとして用意した紙袋とカードケースは、購入本の表紙で作成しました。ガチャポンは、児童生徒の身体状況も鑑み、箱に平に入れたものを取る方式です。」



【学校司書】

「重度の重複障害を有し、安定して活動できる姿勢が限定される児童生徒に読み聞かせをする際は、まばたきなどの微細な反応を保護者、教諭等との協働で読み取り、本人の意思を確認しながら支援をおこなっています。」